

平成 31 年度 推薦入試試験問題（生活科学科 食物栄養専攻）解答例

(50 点)

【問 1 の採点のポイント】

以下の 4 点のことが書かれているか。

- ・魚介類を食べる量が「増えた」と「減った」の相対的な数値的差が記載されているか。
- ・2つの棒グラフの目盛りの違いや数値について、正しく読み取れているか。
- ・子どもの頃と比較して魚介類の食べる量が「増えた」か「減った」かについて述べられているか。
- ・子どもの頃と比較して魚介類の食べる量が「増えた」か「減った」かについての理由が述べられているか。

【問 1 解答例】

子どもの頃と比較して魚介類を食べる量が「増えた」と回答した消費者は 29.6%，また「減った」と回答した消費者は 38.2%となっており、「増えた」が「減った」と比較し、10%程度少なくなっています。「減った」と回答した主な理由については、「価格が高くなったと感じるから」が 43.2%，「調理が難しい・面倒だから」が 31.5%となっています。一方、「増えた」の主な理由としては「健康に気を遣うようになったから」が 70.7%，「おいしいと思うようになったから」が 65.0%と高い数値となっています。これは、消費者が子どもの頃と比較して健康面やし好面を重視するようになってきているからと考えられます。しかし、結果として「減った」が「増えた」に比べ高くなったのは、大人になり魚介類の健康面やし好面よりも家計や時間を重視して、食材として魚介類に経済性や調理の利便性を求めるようになってきているからと推察できます。

(386 字)

(50点)

【問2の採点のポイント】

以下の3点のことが書かれているか。

- ・受験生自身の過去の経験を基に、子どもの頃と比べて魚介類の食べる量が「増えた」か「減った」かについての経緯が述べられているか。
- ・子どもの頃と比べて魚介類の食べる量が「増えた」か「減った」かについて明確に理由が説明されているか。
- ・受験生自身の魚介類の取り方について理由と考えが述べられているか。

【問2 解答例】

私は父の実家が漁師の家系であったために子どもの頃には実家から魚介類をもらってることが多く、魚介類を毎日のように食べていました。現在は祖父が高齢のせいもあり、魚介類が以前のように手に入らないようになり、スーパーで購入する機会が多くなったことから魚介類を食べる量は随分と減りました。食べる量が減った最大の理由は図の理由にもある通り、「価格が高くなったと感じるから」や「鮮度や品質の良い魚介類が入手しにくくなったと感じるから」の理由もありますが、他にも理由があります。その理由は大人になった今は焼肉が好きで毎日でも焼肉をしてもいいくらいに肉類が好きになり、子どもの頃に毎日のように食べていた魚介類の美味しさを忘れてしまったことです。魚介類には畜肉では摂取できない栄養成分が含まれているので、健康面も考えて他の食品とのバランスも考えながら魚介類を食べていく必要があると感じています。

(389字)